

恵庭市長定例記者会見（R2. 3. 24）

お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、第1回定例会が終了しましたので、議会を終えての所感、並びに今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、新型コロナウイルスの流行に伴い、当初の議会日程を大幅に変更し、書面による答弁での対応を行うなど、感染予防対策を行いながら、追加議案3件を含む35件の議案について審議いただきました。

その主なものといたしまして、「令和2年度一般会計予算」などがありましたが、その全ての議案についてご承認いただきましたことに、まずもって感謝いたします。

また、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図って参ります。

それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。

まず1点目は、「新型コロナウイルス対策」についてであります。

本市では、新型コロナウイルス予防対策連絡会議を2月21日に設置し、連日連絡会議を開催して対応策の協議や情報共有を図ってきたところであります。

この間、感染が拡大し、北海道から緊急事態宣言が出されるなど、状況は日々変化してきたところですが、ホームページ等で市民の皆さんに様々な情報を提供するとともに、本市としても公共施設の休館、市主催事業の中止や延期、小・中学校の休業などの措置とそれに伴う学童クラブの全日開設、また、商工会議所と連携して中小企業向けの融資相談や労働相談のほか、市民からの相談窓口を市役所本庁舎内に設置するなど、様々な対応策を展開しているところであります。

特に現在、飲食業等を中心として厳しい経営状況にあり、3月23日までに商工会議所には53件の相談があり、うち27件が飲食業となっております。また、市役所にも18件の相談があり、恵庭市商工会議所と密に連携しながら、対応策について検討しているところです。今後においても国や北海道の動きを注視し、引き続き市民の



皆さんのご協力をいただきながら感染予防対策に力を入れるとともに、市民が不安を抱くことのないように、北海道とも連携しながら適切な対応が取れるよう全庁を挙げて取り組んで参ります。

2点目は、「令和2年度の組織機構及び人事異動の概要」についてであります。

令和2年度は、一部組織体制を改編するなど増大する事務事業に対応しつつ、「第5期恵庭市総合計画」や「恵庭市総合戦略」を推進し、市の重点施策の実現を効率よく推進することのできる体制としました。令和2年度は、前年度に28名の退職（定年退職19名、早期退職2名、自己都合退職7名）があり、第2次定員管理計画に基づいた職員採用を行い、定員管理上の職員数は530名となります。（令和元年度職員数534名）。

組織改編の主な内容については、既にプレス発表時にお渡ししておりますが、組織全体では室の新設、課の統合や名称変更を行い、効率的・機能的な行政運営を図る体制としております。

次に人事異動であります。今回の異動者総数は243名となり、昇任者数は部長級1名、次長級4名、課長級6名、主査級14名の計25名となりました。

なお、「恵庭市特定事業主行動計画」の中で「女性職員の活躍の推進」を具体的な取り組みとして挙げておりますが、令和2年度の組織において女性管理職は8名であり、管理職に占める女性割合は8.7%となる見込みであります。

新年度におきましても職員が一丸となり、市民の立場でよりよい行政サービスの提供に努めて参ります。

3点目は、「東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録」についてであります。

本年2月に、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局を通じて、札幌市開催となった競歩協議のグアテマラ共和国競歩選手のホストタウン候補地として、グアテマラオリンピック委員会と事前調整を進めた結果、ホストタウンに内定いたしましたので、ご報告します。なお、4月3日にグアテマラオリンピック委員会関係者が来恵し、ホストタウンに関する合意調印式の実施を予定しておりますが、新型コロナウイルスの影響により日程が変更となる可能性がございます。

グアテマラ共和国競歩選手のホストタウンとなることで、市民の異文化理解や国際意識を高め、東京オリパラ開催の機運の醸成と浸透を図るとともに、グアテマラ共和国の歴史・文化・社会等への理解を深める絶好の機会であると捉えています。

さらに、東京オリンピックに出場する選手と市民との事前合宿、競技当日及び事後交流における交流事業をはじめ、ホストタウンをきっかけとした道内在住のグアテマラ共和国関係者と市民ぐるみで交流を深めて参りたいと考えます。

4点目は、「運転免許証自主返納出張窓口の開設」であります。

運転免許証の自主返納手続きは、恵庭市民の場合、市外の警察署又は運転免許試験場、或いは免許センターのいずれかで行うこととなっていることから、運転に不安のある市民の方が返納しやすい環境を整備し、手続きの利便性の向上に繋がるよう、千歳警察署のご協力をいただき、4月から2か月に1回、恵庭市民会館で出張窓口を開設いたします。

この出張窓口では、自主返納手続きのほか、免許証返納後の身分証明書として使用ができる、運転経歴証明書やマイナンバーカードの交付手続きについても併せて行うことができるものと致します。

5点目は、「ごみ処理手数料の改定」についてであります。

これまでご案内してきましたとおり、この4月から、有料指定ごみ袋のうち「燃やせないごみ」や「粗大ごみ」の処理手数料が改定となります。また、この他にも、直接搬入や事業系廃棄物の処分手数料も改定となります。市民の皆様には、手数料が引き上げとなりご負担をお願いすることとなりますが、ごみの適正処理に向けて、ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。

6点目は、「焼却施設の本稼働」についてであります。

地元町内会の皆様をはじめ、多くの皆様のご理解とご協力を賜り、平成28年9月より工事に着手しておりました焼却施設につきまして、性能試験を含む全ての検査が終了し、令和2年3月16日に引渡しを受け、4月1日より本稼働することとなりました。

当施設の完成により、長年の課題であった可燃ごみの焼却処理が開始され、ごみの適正処理と減量化が図られるとともに、最終処分場の環境負荷の低減など持続可能な社会の構築に寄与するものとなります。

施設の管理運営につきましては、安全かつ安定的な運転管理に努めるとともに、周辺施設との連携を図りながら効率的な施設運営に取り組み、廃棄物の適正処理を推進して参ります。

改めて、地域の皆様と関係各位のご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

7点目は、「道と川の駅「花ロードえにわ」営業再開 及び 農畜産物直売所「かのな」オープン」についてであります。

道と川の駅「花ロードえにわ」の営業再開と農畜産物直売所「かのな」のオープンについて申し上げます。

初めに、道と川の駅「花ロードえにわ」につきましては、昨年11月から改修工事のため休業しておりましたが、3月12日木曜日より営業を再開いたしました。営業再

開に当たり、恵庭市として新たな取り組みを開始いたしましたので、報告致します。

まず、観光案内情報デジタルサイネージ端末の設置について申し上げます。恵庭市は、千歳市と令和元年8月30日付で『千歳市と恵庭市との連携施策の充実拡大に関する覚書』を締結いたしました。両市は覚書に基づき、観光分野においても共同プロモーションを行うなどの連携を進めております。今回はその一環といたしまして、千歳市の道の駅「サーモンパーク千歳」と恵庭市の「花ロードえにわ」に設置する観光案内情報デジタルサイネージ端末のアプリケーションを統一し、両市の情報を一面で見ることのできるマップを共同製作致しました。

画面は、マップの他、「おすすめ観光コース」と「観光ガイド」で構成されており、5言語（英、中（簡）、中（繁）、韓国、タイ）の外国語への切り替えが行えます。ボタンをタッチするとそれぞれの情報がポップアップ表示されるほか、マップ内のイラストには音や動きの仕掛けがされており、ドライブ休憩でお立ち寄りの皆さまに、楽しみながら恵庭・千歳エリアの情報を紹介できるようになりました。本デジタルサイネージは、千歳市と恵庭市の道の駅のほか、新千歳空港ビル内2か所の合計4か所に設置され、道の駅や新千歳空港を利用する方々へ情報を発信して参ります。

次に、子育て世代の応援施策について申し上げます。この取り組みは、24時間利用可能なベビーコーナーの整備、妊婦向け屋根付き優先駐車スペースの確保、おむつのばら売りなど、全国の道の駅において国土交通省が進める子育て世代を応援する施策の一環として実施するものです。

一つ目は、「子育て応援自動販売機」の設置であります。北海道開発局札幌開発建設部、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、恵庭市の3者連携により、おむつや液体ミルク等を販売する「子育て応援自動販売機」を設置いたしました。北海道内では5例目、石狩管内では初の事例となります。

二つ目は24時間利用可能な授乳室の整備であります。授乳やおむつ替えなどお母さんが赤ちゃんをケアする完全個室型の設置型授乳室で、お子様連れの男性の方も利用可能です。Trim（トリム）株式会社のベビーケアルーム「mamaro（ママロ）」を設置しました。親子でゆったりと入れる広々とした空間で、内側からはカギがかけられ、利用中は外側のサインプレートが点灯することで外から使用中とわかるようになっています。室内にはモニターが設置されており、使用方法や広告動画など様々なコンテンツが表示されます。

最後に、農畜産物直売所「かのな」オープンについて申し上げます。花の拠点整備事業地内の新たな場所に直売所を新築し、地域農業者の生産性・収益性の増大を図るとともに、更なる魅力の向上による交流人口の増加を目指すことを目的とした「農畜産物直売所整備事業」として昨年の3月に公募型プロポーザルにより整備事業者を選定するなど、事業を進めて参りました。このたび、同直売所の運営を行う「恵庭かのな協同組合」の開業準備が整い、4月4日土曜日にオープンすることになりました。

今後は通年営業を予定しており、営業時間は資料に記載のとおりとなっております。生産者と消費者の交流の場として、多くの方々に愛され、ますます発展することを願っております。市民の皆様には、ぜひ新しい「花ロードえにわ」「かのな」に足を運んでいただき、楽しんでいただきますようお願いしております。

8点目は、「小規模保育事業所の新規開設」についてであります。

令和2年4月1日から、恵庭市内島松地区に0歳児から2歳児までを受け入れる小規模保育事業所「島松もみじ保育園」、「島松スマイル保育園」が市内社会福祉法人及びNPO法人により新規に開設されます。

定員については、各園0歳児6名、1歳児7名、2歳児6名、合計19名であり、2園合計で38名の3歳未満児の受入が可能となることから、待機児童及び潜在待機児童の解消につながるものと考えております。

9点目は、「市税及び上下水道料金の支払い方法の拡充」についてであります。

市税及び上下水道料金の支払い方法につきましては、現在、口座振替または、納付書払いとなっております。納付書払いの場合、金融機関やコンビニエンスストアでの支払いが可能となっております。

本年4月1日より支払い方法の拡充として、納付書払いの場合に、市税ではLINEPay（ラインペイ）、PayPay（ペイペイ）、上下水道料金ではLINEPay（ラインペイ）、PayPay（ペイペイ）、PayB（ペイビー）という3種類のバーコード決済による取り扱いが可能となります。

お手持ちのスマートフォンに、専用ソフトをインストールしておきますと、そのスマートフォンで納付書のバーコードを読み取ることにより、支払いができるというものであり、自宅にいながらいつでも支払いが可能となります。

今後も引き続き、納税者や利用者の利便性の向上のためにサービスの充実を図って参ります。

以上、9項目について説明させていただきました。

詳細については、各担当からお聞きください。

●質疑応答

「東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録」について

（記者）ホストタウンに内定した日付は？

（企画振興部次長）2月12日に内閣官房を通じてメールで通知がありました。

(記者) 新型コロナウイルスの影響もあると思いますが、4月3日予定の調印式は開催されるのか？

(企画振興部次長) グアテマラのオリンピック委員会にメールで照会しているが、まだ返事がない。再度、状況確認のメールをする予定。

(記者) 調印式は延期になる可能性が高いのか？

(市長) 延期になったとしても東京オリンピック・パラリンピックが中止とならない限り、引き続きホストタウンとして恵庭ということになればとの思いでおりますので交流が深まればと考えている。

(記者) 東京オリンピック・パラリンピックについて、延期という話が出てきており、総理大臣も延期やむなしということ saying 言っていたが、延期となれば経済効果含めて相当の影響が出ると思います。市長はこの延期についてどのように考えているか。

(市長) 今の世界的な新型コロナウイルスの状況をみると、7月開催は難しいという判断をされたのは妥当だと思います。ですが、中止はしないとIOCも言っておりますので、その点では安心しています。4週間以内に結論を出すということです。日本全体で成功させるために良い形で挑んでいただきたいと考えている。

(記者) 現在、グアテマラから日本に入国できるのか？

(市長) グアテマラは日本人の入国を受け入れていないようだが、日本はグアテマラからの渡航者は受け入れている。

(企画振興部次長) グアテマラからの直行便はないが、来日する際にはメキシコからの入国となるとのことです。メキシコは入国制限をしていないため現在のところは大丈夫です。

(記者) グアテマラの選手を受け入れるに至った経緯は？

(市長) 内閣府としてホストタウンにたくさんの自治体に手を挙げてほしいという働きかけがあり、説明会に担当者が出席する中でマッチングに至った。

(記者) グアテマラを選んだ積極的な理由というのはなく、あくまでもホストタウンとして受け入れるということか？

(市長) グアテマラと恵庭市の関係がこれまでにあったということではないが、内閣府からの勧めによるものです。札幌開催となれば、距離的に近いですので恵庭市としても何か提供できるのではないかと考えている。

(記者) まだ期間もわからない状況ではあるが、東京オリンピック・パラリンピックが延期されるのではないかという話が出ている中で、延期となった場合の経費などの負担について、試算しているのか？

(市長) 特にしていない。開催にあたっての経費面などについて国とのやりとりをしているが、延期の件についてのやりとりはない。何かあればこれからになると思われる。

(記者)「かのな」通年営業でオープンとなるが、4月は野菜もなく、冬場の商品の確保などはどのように考えているのか？

(市長)これから今年の冬に向けて色々と研究をしていくと思うが、春は花苗や野菜の苗などになるのだろうと思っている。10月くらいまでは地元の野菜を中心に、越冬のじゃがいもや玉ねぎなども提供できますし、市内で菓物を冬でも生産している農家もあるので提供できると考えている。他については、私個人の考えですが、静岡県の大井川とJA道央が提携しているので、冬はそちらのものを扱うのもよいと思いますし、夏場と同じスペースを使用しない場合には、スペースを貸して販売を行うなどの工夫もできる。冬は「花ロードえにわ」も集客が夏に比べて減るので、それを盛り上げる意味でも、運営する「かのな協同組合」に考えていただければと思っている。

道と川の駅「花ロードえにわ」リニューアルオープンについて

(記者)新しくなった道と川の駅「花ロードえにわ」に期待することは？

(市長)3月12日に「花ロードえにわ」オープンしましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、オープンとしては残念なところもありますが、これから農畜産物直売所「かのな」もオープンしますし、秋には公園も整備されて眺めることができるようになれば、人の流れが大きなものとなると思うので、期待をしている。

(記者)「かのな」オープンにあたっての式典などは予定されているのか？

(市長)4月4日オープンの前日には、縮小した形ではあるがテープカットを行う予定で考えている。

(記者)これからオープンを予定している公園の整備等にあたり、新型コロナウイルスの影響により、人手不足や工事に遅れなどが生じていることはないか？

(市長)花の拠点整備も含めて、恵庭市全般の工事等の聞き取りを行ったが、新型コロナウイルスの影響による工事の遅れなどはないと伺っている。

「新型コロナウイルス対策」について

(記者)北海道が緊急事態宣言を行い19日に終わりましたが、20日～22日の3連休は観光地の人手も若干は戻ってきているとのことなので、少し緊張が緩んできているのではないと考えるが、北海道の対応についてどのように考えているのかについて1点。次に、飲食業の影響が大きいということだが、支援策として金融支援を行うとのことでしたが、それ以外で何か考えていることがあるのかについて2点目。市職員も消費者であり、人事異動に伴い歓送迎会もある時期だが、3月はウイルスの影響により自粛されているかと思います。職員に飲食はこうにしてほしいなどの依頼はしているのかについて確認したい。

(市長)1点目については、北海道も19日で一旦終わり、次のステージに移ったと

ということではあるが、引き続き感染予防の対策はしっかり行ってほしいということを確認している。道立の公共施設も3月いっぱいまで閉鎖をするということがありましたので、恵庭市としても人が集まる場所などへの注意は引き続き行っている。少し緩んできているのではないかということについては、市ホームページでも引き続き感染予防を呼びかけている。油断することなく感染予防について引き続き市民に啓発していきたい。2点目の飲食店を中心に厳しいという状況については認識している。先般、商工会議所に行き、会頭と何ができるかということ話を合った。出前やデリバリーなどができるところを紹介しようということや、会議所に加盟しているサービス業の方々を宣伝しようということなどの様々な取り組みの提案がありましたので、それらの話を詰めてできるだけ早期に具体的な対策となるようにしていくことについて合意を得ている。3点目については、3月中の送別会については難しいだろうということ連絡会議でも話している。年度が明けての歓送迎会については、中止ではなく4月末や5月が過ぎてからでも必ず実施してほしい旨をお願いしている。日にちを遅らせて状況が好転すれば、市内の飲食店を利用してほしいと考えている。

(記者) 議会について、新型コロナウイルスの影響により休会が長引いたことや傍聴者を入れないなどの特殊な展開となったと思うが、答弁が書面となったことや市民に大事な年度予算についてしっかりと伝わったのか。議会の決定ということだが、今回の議会の進め方は新型コロナウイルス対策に効果があったのかについて伺いたい。また、市民にとってこのやり方がよかったかどうかについて市長はどのようにお考えか？

(市長) 判断については議会が決定したことです。その判断に従って私たちも対応することになる。公的な制約はないが、緊急事態宣言が出されている中での議会です。その中で議会が考えられたのではないかと考えている。決まった状況の中で議論がなされたと思いますし、文書についても丁寧に対応させていただいたと思う。

(記者) 代表質問の中でコロナ関係の費用はどうするのかという質問に対して、国からの補填があるとの答弁であったが、市として補正予算を組むという予定はあるのか？

(市長) まだその点については詰めてはいないが、必要となれば新年度予算での補正ということになると思いますし、今月中ということになれば予算の範囲内でできるものがあればやっていく。

(記者) 議会の対応について、議会の決めたことに対して文書で応答するという形であったが、再質問の機会が公式にはなかった。今後同様のパンデミックや災害時などに再質問も書面で行うなど柔軟に対応していく予定か？

(市長) 公開の場である議会です。議員と市役所とのメールのやりとりではあり

ませんので、議会としてどのように考えるのかになるのではないかと思います。

もちろん今回は通常の状態ではなかったということだと思います。

(記者) 工事等について、4月には新年度分の工事等や委託が始まると思うが、新型コロナウイルスによる影響はないか？

(市長) 今のところは聞いていないが、工事を行うための資材が入ってこないということはあり得るので、そのために工期を遅らせることなどは考えられる。

(副市長) 現在発注している工事について工期を延長してほしいなどという声は届いていない。新年度については、年度当初の早めの発注ということを行っていますので、発注時期をコロナ対策のためにずらすということは特に考えていません。また、新年度から受注者側が工期を調整できる仕組みを導入する方向で考えているので、工期の延長などがあればある程度対応できるのではと思っている。資材関係については輸入が難しい場合などが考えられるので、その点について工期は柔軟に考えていかなければならないと思っています。

「令和2年度の組織機構及び人事異動」について

(記者) 人事異動について、部長職人事が1件しかなく例年に比べると少ないと感じるが、何かねらいがあつてのものか？

(副市長) 特にねらいはない。部長退職が1名であったことと、部長対象者に消防職員を充てたことから、他の部長の異動に影響がなかった。また、現職の部長のほとんどが1年目ということもあり結果として異動がなかったということです。

(記者) 再任用職員が多く感じられるが例年と比べてどうか？

(副市長) 再任用職員は例年より減っています。